



大阪府が 補助を拡大すれば、 高校生まで無料に できるやん!!

れ様を近くでは、大阪によっては、大阪によったでは、大阪によったでは、大阪によった。

私たちは

🕌 子ども

1. 医院での窓口負担の無料化

2. 対象年齢の引き上げ

子ども医療費助成制度は、子どもが医療機関に受診した際に窓口での医療費負担を補助する制度です。現在、大阪府は就学前までの子どもを補助し、各市町村の努力でそれに上乗せする形で対象年齢を拡大しています。大阪府が補助を拡大すれば、対象年齢の引き上げや1回500円かかる負担金の無料化も可能になってきます(全国の自治体の6割以上が窓口負担は無料です※2018年厚労省調べ)。

💪 障害者 🗀 難病患者

医療機関だけでなく、薬局でもお金がかかるときつい… 年金暮らしの中、対象から外れてしまい、毎回の医療費の支払いが苦しい

- 1.全ての難病患者を対象へ
- 2. 中軽度の障害者を対象に
- 3. 窓口負担の軽減
- 4. 精神病床への入院を対象に

現在、障害者や難病患者を支える制度は、昨年に制度内容が大きく 改悪されました。対象者が重度障害者に限られたことで、多くの高 齢者が制度の対象から外れ、毎回高い自己負担金を支払うことにな りました。障害や難病を持つと、医療機関にかかる頻度は高くなりま す。障害・難病患者やその家族をサポートするためにも、医療費助成の 制度の充実・拡大は必要不可欠です。

福祉医療の拡充を求める大阪実行委員会 連絡先: 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 大阪府保険医協会内 16.06-6568-7721

大阪府の医療費助成制度の 拡充を求める請願

年 月 日

請願趣旨

大阪府内の自治体では、子ども医療費助成制度の対象者を高校卒業まで広げるところが増えてきています。全国的にも対象を高校卒業まで、窓口負担の無料化が進んでいます。大阪府の乳幼児医療費助成制度は対象が就学前までとなっており、対象年齢の引き上げを求める声が少なくありません。

また、2018年4月に福祉医療費助成が改定され、自己負担上限の撤廃や薬局での新たな自己負担導入により、医療費負担増に困窮する方が増えています。対象者を「重度」に限定したことで、現在対象になっている方が2020年度の経過措置を終えると対象から外され、医療費の負担が増大し、生活を圧迫することが懸念されます。

精神病床の入院についても改定により、「子ども・ひとり親」の医療費助成対象者も対象から外されてしまい、医療現場から窮状を訴える意見が上がっています。

全ての府民が安心して医療を受けられるよう、以下の内容を請願します。

請願事項

- 一、乳幼児医療費助成制度の対象年齢を引き上げて下さい。
- 一、乳幼児医療費助成制度の医療機関の窓口負担を無料にして下さい。
- 一、重度障がい者医療費助成制度を見直し、難病患者・中軽度の障がい 者にも対象を広げて制度を拡充して下さい。
- 一、重度障がい者医療費助成制度における1医療機関上限3,000円を 以前の1,000円に戻し、薬局での負担を撤廃して下さい。
- 一、精神病床の入院についても助成制度の対象として下さい。

お名前	ご 住 所

*お名前、ご住所などの個人情報は、国会への請願以外には一切使用しません。 *署名の取り組みは2020年2月まで。

(取扱団体:)